

# 疾患別治療計画書

## 川崎病で入院される方へ

	入院時	3日目頃	7日目頃	15日目以降 退院
検査	心電図 心エコー 採血 レントゲン	採血	経過を見ながら必要時、心電図・心エコー・採血・レントゲンの検査を行います。	
点滴	<p>点滴の開始: 手の血管にプラスチックの針を入れて点滴を行います。小さいお子様で手の血管への点滴が困難な場合は、足の血管に点滴を行います。点滴の目的は、水分補給と薬剤投与です。経過中、点滴の入っている所が腫れたり、詰まったりすることがあります。この時は点滴針の刺し替えが必要になります。</p>	<p>熱がある間は点滴を行います。</p> 	<p>熱が下がり、症状が落ち着けば点滴をはずします。</p>	<p>退院の時に薬をお渡しします。</p>
	<p>ガンマグロブリン(血液製剤)の点滴を行います: 同意を得られた後(同意書記入後)に投与を開始します。投与時間は約24時間です。血液製剤は、投与時にアレルギー反応(頭痛、嘔気・嘔吐、発疹等)を起こすことがあります。安全のため心電図モニターを装着します。また、血圧の変動がないか治療中はまめに血圧を測ります。</p> <p>・ステロイド(副腎皮質ホルモン)の注射をします。(1日3回) ・ステロイドの注射薬について薬剤師から説明します。</p>	<p>熱が下がらない場合や血液検査の結果により、主治医の判断で2回目のガンマグロブリンの点滴を行う場合があります。</p>		
内服	<p>・アスピリン(解熱鎮痛、抗炎症薬)の内服を開始します。(1日3回) ・薬剤師から内服と予防接種について説明します。 ・現在飲んでいるお薬がある場合はお知らせください。</p>		<p>・採血の結果で、ステロイドを内服に切り替えます。(1日3回) ・薬剤師から内服について説明します。 ・熱が下がり、症状が落ち着いていれば、アスピリンの内服が1日1回(朝のみ)に減量になります。</p>	<p>退院時にお薬をお渡しします。</p>
清潔	<p>・点滴をしている間は体拭きをします。</p>		<p>点滴が抜けた後は様子を見て、異常がなければ入浴できます。</p>	
安静	<p>・洗面やトイレは歩いて大丈夫ですが、それ以外はベッドの上で過ごしましょう。 ・状態が改善してきたら、病室内で自由に歩いたり遊んだりできます。</p>		<p>解熱後、症状が落ち着いていればプレイルームで遊ぶことができます。</p>	
食事	<p>・食事が進まない場合は、食事内容について栄養士に相談することができます。(軟食や麺類への変更など) ・食事の持ち込みについてもご相談ください。</p>			
看護	<p>・発熱、痛み、かゆみ等の苦痛が軽減するよう援助させていただきます。 ・唇が乾燥して荒れることがあります。軟膏を塗って保護します。</p>		<p>風邪をひかないよう感染防止について説明します。</p>	
退院後の治療計画	<p>・主治医の指示通り内服を継続して下さい。 ・定期診察を必ず受けましょう。 ・退院後も定期的に心電図、心エコー、採血、レントゲン等の検査を行います。</p>			
退院後の療養上の留意点	<p>・風邪をひかないよう気をつけましょう。 ・ガンマグロブリンの点滴を受けたお子様の予防接種について、ご不明な点は主治医とご相談ください。</p>			